

「サイエンスカフェ in 静岡」第190話（2025年12月18日）

テーマ：「微細藻類を利用する廃水処理システムの開発」

講 師：長尾 遼 先生

（静岡大学農学部応用生命科学科 准教授）

■ 参加人数 28名

■ アンケート回答人数 21名

■ ご職業

会社員：5	公務員：0	教員：3
自営業：0	主婦・主夫：2	
小学生：0	中学生：0	高校生・高専生：0
大学生・大学院生：0	その他：11	

■ 年齢

19歳以下：0	20歳代：0	30歳代：0	0
50歳代：5	60歳代：7	70歳以上：9	不明：

■ ご住所

葵区：9	駿河区：4	清水区：5	焼津市：2
藤枝市：0	島田市：0	富士市：0	浜松市：1
静岡県内その他：0	静岡県外：0		

■ この企画をどのようにお知りになりましたか。（複数回答有）

- ・継続参加による周知：16
- ・静大のサイエンスカフェホームページ：2
- ・サイエンスカフェのポスター（学校や1スで掲示されているもの）：3
- ・SNSを通じて（サイエンスカフェのTwitterを含む）：0
- ・職場などの情報回覧：0 • 知人の紹介：0 • その他：0

■ 講演内容についてのご意見やご感想・質問などをご自由にお書きください。

(50 歳代)

- 大変興味深かったです。初めての参加でしたが、また、次回も参加したいと思います。
- 98報の論文はすごい。
- 周りの人の質問で、より理解が深まりました。
- サイエンスカフェ再開していることを知り参加しました。楽しかったです。

(60 歳代)

- 将来が楽しみな研究です。実用化を目指し頑張ってほしいと思います。
- とても面白かったです。今後が楽しみです。
- とても面白い話でした。課題を逆手に取り、一石三鳥を狙う姿勢感服しました。5年後、10年後どう発展するか楽しみです。
- 廃水はゴミではなく資源ですなんて考える人がいて、びっくり仰天。藻類を使って本当にできればいいけれど、結局、それからがたいへんなんてわかっているから難しいですね。
- 夢のある話ありがとうございました。
- 研究の背景から説明いただき、ワクワクしながら聴講できました。

(70 歳代)

- 廃水はゴミではなく資源、雑草は無いことと同じ藻類への着想、廃水処理法、いろいろと気づかされた。田子の浦のヘドロの臭いが無くなった。全国展開、今後の課題など勉強になりました。
- 「廃水はゴミではなく資源です」とは良い言葉です。微生物の能力の高さには驚きました（人間が作ってしまったごみをいかせるようにしてくれるとは）。その能力を利用させてもらって資源が限りあるので、なんとかゴミにしてきたものを使えるようにしたいです。
- 本日は先生の豊かな発想、知識により新しい廃水処理法の研究実用化を試みていること、さらなる研究により、低成本で廃水処理が可能になれば、廃水に悩まされている人々にとって、大変喜ばしいことになるのではないかと思いました。焼津に住んでる私にとってもありがたいことです。
- とても希望のあるいいお話を聞かせていただきました。
- 「土とは何ぞや」と思っています。1cm角に数億の微生物。土地、場所で異質。

- 廃水処理で微細藻類を利用している研究で、社会実装へ向かえるという成果が出ているとのこと。ぜひ研究を続けてベンチャー企業を設立し環境をより良いものに変えてほしいと切に願います。